

# 日曜研究室

技術的な観点から日常を綴ります

## [xv6 #43] Chapter 4 – Scheduling

テキストの51ページ

### 本文

あらゆるOSは、コンピュータが持っているプロセッサの数より多くのプロセスを実行するように見える。

そのために、プロセス間でプロセッサを時分割するために、いくつかの案が必要となる。

ユーザプロセスに対して透過的な案が理想的である。

一般的な方法は、それぞれのプロセッサにそれ専用の仮想的なプロセッサを持たせてるように見せかけ、OSに、一つの物理プロセッサ上で多数の仮想プロセッサを多重化する仕組み、を提供させることである。

この章では、xv6がどうやって各プロセッサ間でプロセッサを多重化するのか、について説明する。

### 感想

スケジューラの章です。

動詞としてmultiplexという単語が使われてる部分は、「多重化する」と訳してます。

ざっと章全体を見た感じ、長めの節が多めなので大変そうですが、ぼちぼちやっていきます。

カテゴリー: 技術 | タグ: xv6 | 投稿日: 2012/3/18 日曜日 [<http://peta.okechan.net/blog/archives/1539>] |

---